

会 議 録

1 会議名

令和4年度第12回牧区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項（公開）

- (1) 上越市が所有する日帰り・宿泊温泉施設のサウンディング型市場調査の結果について
- (2) 令和5年度の牧区に関する事業について
- (3) 令和4年度「灯の回廊」の開催結果について
- (4) 学校適正配置に係る牧小学校保護者との意見交換会について

○協議事項（公開）

- (1) 令和5年度牧区地域協議会年間スケジュールについて

○自主的審議事項（公開）

- (1) あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について

3 開催日時

令和5年3月20日（月）午後6時00分から午後8時30分まで

4 開催場所

牧区総合事務所3階 301会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：西山新平（会長）、飯田秀治（副会長）、井上光廣、小黒誠、折笠忠一、坂井雅子、佐藤祐子、清水薫、高澤富士雄、難波一仁、横尾哲郎
- ・行政改革推進課：島田副課長、敷波係長
- ・事務局：牧区総合事務所 山岸所長、小林次長、佐々木グループ長、藤井班長、田中主事（以下、グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【小林次長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【西山会長】

- ・挨拶。
- ・所長に挨拶を求める。

【山岸所長】

- ・挨拶。

【西山会長】

- ・会議録の確認：小黒委員に依頼。
- ・本日の報告事項である、(1)上越市が所有する日帰り・宿泊温浴施設のサウンディング型市場調査の結果について、行政改革推進課より説明を求める。

【島田副課長】

—資料No. 1に基づき説明—

【西山会長】

- ・今程説明のあった件について、質問や意見等はないか。

【清水委員】

- ・福祉関係の事業者にも周知したとのことだが、どのようなねらいなのか。

【島田副課長】

- ・昨年、三和区の米本陣を有料老人ホームに用途を変更して活用したいという民間事業者に譲渡させていただいた。趣旨としては、そのような需要があるかも含めて、幅広く周知させていただいたところである。

【清水委員】

- ・今程の説明で、深山荘は老朽化や市街地から離れており、観光としての利用が難しいことを踏まえると、福祉の面で利用すべきではないかと感じた。

【佐藤委員】

- ・長野北部地震の際、避難所となっていた深山荘へ担当として出向いた。老朽化で傷ん

だ箇所もあったが、お風呂や布団、食べ物があり、水道や電気などのライフラインが止まらない限り、通常の避難所では対応が難しい身体障害者や高齢者の方を受け入れるのにとっても良い施設だと感じた。現在の指定管理者も観光の面で頑張っているが、それで立ち行かない場合は福祉避難所としての利用も考えられる。

【横尾委員】

- ・ 厳しい状況であり、施設の利用促進を図るために調査を通して模索されていることを理解した。私も、深山荘ファンクラブの一員として地元の利用促進を図っている。一方、現地見学会に参加されたものの、提案をいただいた事業者がなかったとのことで非常に残念に思う。最後に、「サウンディング」とはどのような意味なのか。

【島田副課長】

- ・ 対話形式での調査という意味合いになる。民間事業者の方から、施設を活用した事業の提案をいただく形となる。

【横尾委員】

- ・ カタカナ表記だと分かりにくいですが、説明を受けて理解した。また、福祉施設として利用すれば、今後の道筋が開ける可能性があるということか。

【島田副課長】

- ・ 今回は温浴関連事業者だけでなく、福祉施設を運営する事業者や、商工会議所を通じて幅広く周知させていただいたが、結果として深山荘に提案はいただけなかった。4月以降には、調査結果を踏まえて市の方向性をお示しさせていただきたい。市が一方的に決めるのではなく、地域協議会や関係者の皆さんと協議を重ね、理解を得ながら良い方向へ進めていきたいと考えるのでご理解いただければと思う。

【横尾委員】

- ・ 切羽詰まった課題として税収入がない。予算的な部分も訴えながら取り組んだ方が良いと考える。

【難波委員】

- ・ くわどり湯ったり村における雇用調整助成金の不正受給について、報道で拝見した。もちろん、不正受給は悪いことだが、施設を運営するために今回の結果になってしまったとのことである。市として、もう少しきちんと対応された方が良いと考える。

【島田副課長】

- ・今回不正受給が起きた第三セクターについて、所管の部署において専門家の意見を踏まえながら、どのように関与していくかを検討している。その中で、不正を防止するチェック体制などを構築していきたいと考えている。皆様にもご迷惑をおかけしているところではあるが、今後このようなことが起こらないようにしていきたい。

【西山会長】

- ・長野県長野市にはかなりの温浴施設があると感じる。どの施設も集客があり、閉鎖したという話を聞かない。長野市自体規模が大きく、財政的な面もあるかもしれないが、経営状況などを調べていただければありがたい。

【島田副課長】

- ・長野県も公共・民間の温浴施設が多く、集客もあると感じている。今回調査を行った際、そのような方面からも提案をいただいた。それらも踏まえ、利用促進につなげていければ良い。また、先進地へ出向いて勉強する機会を設けることができれば良いと考える。

【西山会長】

- ・他に質問、意見等がないため、一つ目の報告事項について終了し、行政改革推進課からはここで退席していただく。続いて、報告事項(2)令和5年度の牧区に関する事業について、事務局より説明を求める。

【山岸所長】

—資料No. 2に基づき説明—

【西山会長】

- ・今程説明のあった件について、質問や意見等はないか。

【飯田副会長】

- ・資料4 ページの34「道路維持費」における計画的修繕について、説明を求める。

【山岸所長】

- ・予算を要求するにあたり、令和5年度は計画的修繕がないことから0円と記載されている。事業名として「道路維持費」が4項目あり、区分けとして計画的修繕という言葉を使用している形となる。

【飯田副会長】

- ・前年度と比較すると約5千万円の減額となっており、ますます中山間地域の市道を修

繕してもらえないと捉えてしまう。

【山岸所長】

- ・上越市全体で計画的修繕に充てる金額も少ないが、市道に穴や亀裂、崩落などが起きた際に修繕をしないということではない。あくまでも予算であり、要望があれば予算を調整して対応させていただく。また、次回地域協議会では、令和4年度の当初予算における33「道路維持費」94,753千円の内訳をお示しさせていただきたい。

【飯田副会長】

- ・以前、地元集落における市道において、4月に検分を行い、11月になってから修繕をされたことがあった。

【小林次長】

- ・牧区総合事務所の担当が進捗状況を把握できず、対応が遅れたことは反省点である。地域の皆様にはご迷惑をおかけして申し訳ない。新年度においては、適宜要望などの確認を行い、まず対応できるか否かを地域に回答していきたいと思う。

【難波委員】

- ・町内会長連絡会議においても、市道の修繕について意見が出ていた。対応できないものは仕方がないが、回答は早めにいただければと思う。

【山岸所長】

- ・牧区総合事務所の担当が現場確認や写真・位置図の用意、県道あるいは市道かを判断して板倉区総合事務所につなぐところまでは早いですが、集約先である板倉区総合事務所が4区分を対応している状況である。牧区総合事務所としても、対応できるか否かの回答は早めをお願いする旨を板倉区総合事務所へ伝えさせていただいた。

【難波委員】

- ・現在、牧区の担当職員が懸命に取り組まれているが、仮に災害が起きた際は対応しきれないことが懸念される。牧区総合事務所の他の職員あるいは板倉区総合事務所の職員など、業務を補助する職員が必要だと考える。

【山岸所長】

- ・その点においては、3年前の台風19号や昨年の局地的な豪雨の際は全員体制で対応させていただいた。

【西山会長】

- ・他に質問、意見等がないため、二つ目の報告事項を終了する。続いて、(3)令和4年度「灯の回廊」の開催結果について、事務局より説明を求める。

【小林次長】

—資料No. 3に基づき説明—

【西山会長】

- ・今程説明のあった件について、質問や意見等はないか。

【井上委員】

- ・入込人数の数は、どのような方法か。

【小林次長】

- ・機械的に行うことは難しいため、目視で対応している。

【井上委員】

- ・今年の灯の回廊も非常に良かった。今後も継続していくこと、ホームページの活用や深山荘に写真を掲示するなどの具体的な宣伝をしていくことが大切だと考える。

【小林次長】

- ・今後の参考とさせていただきたい。

【清水委員】

- ・今年も高土地区で渋滞が起こり、花火に間に合うことができなかったとの意見も伺った。高土地区は茶屋を出店しているものの、駐車場が無い。市全体で調整するような対応をしていただければと思う。

【小林次長】

- ・担当である観光交流推進課へ情報提供し、高土地区の担当者と協議いただくよう対応させていただく。

【清水委員】

- ・誘導員もしっかりと配置していただきたい。

【小林次長】

- ・今回は誘導員を配置したとのことであるが、対応できていないのであれば改善する必要がある。

【西山会長】

- ・報道によると、来年から三和区が灯の回廊に参加する話もあるが、具体的な内容が分

かれば教えていただきたい。

【小林次長】

- ・三和区は今年度初めて取り組まれ、反省会にて来年度以降は灯の回廊と連携して実施したい旨の要望があったとのことである。一方、詳細は分からないため、今後確認させていただきたい。

【難波委員】

- ・灯の回廊と称しているが、総距離ほどの程度なのか。

【小林次長】

- ・牧区内におけるキャンドルロードの総距離は26.2キロである。

【西山会長】

- ・他に質問、意見等がないため、三つ目の報告事項を終了する。続いて、報告事項(4)学校適正配置に係る牧小学校保護者との意見交換会について、井上委員より説明を求める。

【井上委員】

—資料No. 4に基づき説明—

- ・牧中学校の保護者と意見交換を行いたいと考える。地域協議会と意見交換を行うために時間を設定いただくことは難しいと思われることから、今回のように保護者が集まる機会に意見交換会の場を設けることができれば良い。

【西山会長】

- ・今程説明のあった件について、質問や意見等はないか。

【山岸所長】

- ・井上委員から牧中学校保護者とも意見交換会を行う旨の提案があったが、学校の総会も毎月開催されるわけではない。直近だと牧中学校は4月28日に総会となるため、意見交換会を行う場合は本日決定いただく必要がある。

【清水委員】

- ・資料に記載されている地域おこし協力隊の意見は非常に大切な意見である。人口が減少している中でどのように対応を行うか。また、地域おこし協力隊の方は住む環境などを踏まえて牧区に来られたと思うが、学校統合の話聞いてがっかりされたと思われる。そこをどのように捉えて対応していくかが大切である。

【佐々木グループ長】

- ・先日行われた牧小学校保護者との意見交換会と比較するために、牧中学校保護者のおおよその世帯数をお伝えさせていただく。牧中学校における新中学3年生が8世帯、新中学2年生が6世帯、新中学1年生は6世帯となり、牧中学校の保護者と意見交換会を行う場合は、約20世帯の参加が想定される。

【小黒委員】

- ・新中学1年生の人数は、牧小学校から牧中学校へ進学する前提の人数なのか。

【佐々木グループ長】

- ・牧小学校を卒業する7人のうち、6人が牧中学校に進学する。また、新中学1年生になる生徒の保護者については、先日行われた牧小学校との意見交換会に参加いただいていることから、牧中学校の保護者として初めて意見交換を行うのは約14世帯となる。

【井上委員】

- ・小学校と中学校では活動の実態が異なり、子どもに対する願いや思いも異なる。そのため、今回の牧小学校保護者との意見交換会だけでは全ての内容を聞くことができなかったように思われる。

【山岸所長】

- ・以前、牧保育園や牧小、中学校の保護者全体で意見交換会を行った。中学生の保護者からは少人数のクラスで友人関係を築いていることや、実際に統合する際はすでに子どもが卒業していることから統合しなくても良いとの意見もあった。一方、保育園児の保護者からは今後義務教育を9年間むかえることもあり、とても切実な様子であった。保護者の思いは子どもの年齢やおかれる環境によって全く異なっていると感じた。

【飯田副会長】

- ・私も山岸所長と同じ意見で、中学校よりも小学校だと思う。新年度になれば、新たな保護者会が結成される。PTA役員が代わるタイミングで、今回のように総合事務所から日程を調整していただき、少しずつ牧小学校の保護者と意見をまとめていく進め方が良いと考える。今回の牧小学校との意見交換会には4名の委員が代表して出席したが、今後は一人でも多くの委員から出席いただければ良い。非常に難しい問題であることから、すぐに前に進むことはできない。統合に賛成する保護者も6割というこ

とで、少しずつ保護者と話し合いを進めていく方が良いと考える。

【井上委員】

- ・そのとおりだと思う。

【西山会長】

- ・飯田副会長がおっしゃったとおり、牧中学校と急いで話し合いをしてもあまり話は進展しないと思われる。

【佐々木グループ長】

- ・飯田副会長がおっしゃったとおり、新年度に牧小、中学校のPTA新3役の方と昨年の取組を踏まえながら、今後の活動について話し合いを予定しており、新しい役員の皆様からもぜひご協力をお願いしたいと考えている。まだ詳しい日程は決まっていないが、決まり次第情報提供させていただきたい。

【井上委員】

- ・学校や統合について地域協議会として関与すべきではないと考える。一方、子どもの居場所や安全に登校する方法など、地域の中で生きている者として一緒に考えることが大事だと思う。子どもを取り巻く環境づくりに取り組むことによって、直接的ではないが地域おこし協力隊の方の意見にも答えていくことになると思う。

【西山会長】

- ・今程井上委員から提案のあった牧中学校保護者との意見交換会について、実施するかどうかの意見を伺いたい。

【横尾委員】

- ・地域おこし協力隊の方の意見もあったが、全体を見ると6割の保護者が統合に賛成している。教育委員会で学校適正配置のベースが決まっている中で、少数のどちらでも良いあるいは統合に反対とする保護者も賛成意見にさせるということか。

【小林次長】

- ・現在、保護者と教育委員会で統合について協議を行い、現時点で保護者の6割が統合に賛成している。教育委員会としては保護者の意見を尊重したうえで賛成意見を集め、保護者が望む方向性で進めたいと考えている。一方、統合にあたり子どもの登下校や家庭での過ごし方などの課題があることから、地域協議会ではその解決方法を協議していただきたい。また、直接意見を聞きたいということであれば意見交換の場に参加

ができるか否かを教育委員会に確認させていただき、情報共有を図りたいと思う。

【西山会長】

- ・他に質問、意見等がないため、報告事項を終了する。続いて、協議事項(1)令和5年度牧区地域協議会年間スケジュールについて、事務局より説明を求める。

【田中主事】

—資料No. 5に基づき説明—

【西山会長】

- ・今程説明のあった件について、質問や意見等はないか。今年の4区合同研修は、どこで開催する予定か。

【藤井班長】

- ・板倉区である。

【西山会長】

- ・他に意見等がないため、令和5年度牧区地域協議会の年間スケジュールについては、事務局案のとおり決定してよろしいか。

(一同、異論なし)

【西山会長】

- ・協議の結果、事務局案に決定したことから協議事項を終了する。続いて、自主的審議事項(1)あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について、事務局より説明を求める。

【藤井班長】

—資料No. 6に基づき説明—

【西山会長】

- ・今程説明のあった件について、質問や意見等はないか。

【飯田副会長】

- ・牧振興会との意見交換会では、今まで思っていたが言葉に出せなかったことや行動に移すことができなかったことを認識し合うことができた。また、令和5年度から地域独自の予算が開始する。現在、牧区地域協議会や牧振興会、牧区総合事務所が「やろっさ！」という気持ちになっている。今後もコミュニケーションを欠かさず、引き続き意見交換会の場を設けていきたいと考える。

【横尾委員】

- ・昨年、牧区地域協議会から牧振興会の理事として西山会長が選出された。牧振興会における理事会の様子も地域協議会で情報提供いただければと思う。また、先日の意見交換会を通して、3組織で意見や思いが共通していた部分があると実感した。今回出された意見をもとに、牧振興会と協力しながら今後の方向性を見い出していくことができれば良いと考える。

【高澤委員】

- ・今回の牧振興会との意見交換会は非常に良いものだった。もう少し早く実施しても良かったと思う。また、地域独自の予算について、令和5年度予算において継続事業の補助率が10割に対し、新規事業は7割しか補助されないように、補助率の差が今後ネックになってくると思われる。提案団体がある程度の予算を持っていなければ事業の実施は難しい。さらに、補助率が段階的に下がると、新たに提案する団体が減少することも懸念される。ある程度予算があり、力のある団体でないと取り組むことができない。その点、牧振興会はある程度の予算があることから、牧振興会が中心になって取り組んでいくことも考えられる。

【西山会長】

- ・牧振興会自体の収入が減少している。また、事務局の人数も減少していることから、もう少し人手を増やす必要がある。

【山岸所長】

- ・補助率が段階的に下がることは、議会の一般質問でもあがった。上越市の補助金は原則として事業費に対する金額の2分の1を補助することとしているが、地域振興の一環で行うまつり等は7割を補助することとしており、地域独自の予算の補助率も7割に合わせた形となる。

【難波委員】

- ・高澤委員の意見と同じ意見である。もちろん、補助金であれば自己負担も出てくるが補助率が段階的に下がると提案団体も減少することが懸念され、せっかく導入された地域独自の予算も独自ではなくなってしまう。地域活動支援事業のように、補助率が10割でなければ、自己資金はないものの意欲のある団体が活用できない。

【山岸所長】

- ・担当課である自治・地域振興課と地域独自の予算についてヒアリングを行った際、難波委員が言われたことを申し上げたところである。

【難波委員】

- ・飯田副会長がおっしゃったとおり、3組織での意見交換会を今後も開催していただきたいと思う。形としては、牧区総合事務所が主体となって定期的を開催するのが良い。地域協議会は協議のみで実施母体にはなれないものの、各々が抱えている課題の認識を共有することができた。

【山岸所長】

- ・多くの委員から意見交換会の場を継続してほしいと意見をいただいた。牧区地域協議会や牧区総合事務所へいただいた要望の中でも、「なんでも目安箱」などすぐに取り組むことができるものもある。それらの取組を進めながら次の意見交換会ができれば良いと考える。

【小林次長】

- ・今回の意見交換を通して「買い物支援ツアー」、「メープルシロップ」、「空き家対策」など、3組織で共通する意見があげられた。まず、空き家の情報発信については、事務局が知識不足の点もあることから、少しお時間をいただいて情報収集を行い、その結果を地域協議会で報告させていただきたい。次に、買い物支援について、牧振興会と話し合いの場を持つことでツアーの回数を増やすといった要望の実現につなげていきたいと思う。最後に、メープルシロップについて、イタヤの梨本さんをお呼びして、メープルシロップを作る経緯など話を聞く場を設け、今後の方向性を見い出していきたいと考える。これらに取り組むことで、一つでも令和6年度予算に要求できるよう進めていきたいと考えるので、新年度もご協力をお願いしたい。

【西山会長】

- ・他に質問、意見等がないため、自主的審議事項を終了する。続いて、その他連絡事項について、事務局より説明を求める。

【田中主事】

- ・柿崎区地域協議会からの意見書提出について
- ・「牧区地域協議会だより（第57号）」3月25日号発行について
- ・次回地域協議会の開催は4月18日の火曜日、午後6時からとする。後日、案内文を

送付するため、出欠についてご報告いただきたい。

【山岸所長】

- ・牧区総合事務所 4 月 1 日付け人事異動について

【西山会長】

- ・他に意見を求めるが発言がないため、飯田副会長に閉会のあいさつをお願いする。

【飯田副会長】

- ・会議の閉会を宣言。

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL : 025-533-5141 (内線 147)

E-mail : maki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。